

# H27大豆栽培農事メモ 第3号 (エンレイ版)

平成27年7月24日  
白山石川営農推進協議会  
石川県農業共済組合  
松任市農業協同組合

## 1 生育状況

エンレイの草丈は昨年より長く、播種の早い圃場では着莢期にさしかかっている。里のほほえみの草丈は短く、播種の早い圃場開花期にさしかかっている。

7月21日には平年よりも3日早く梅雨あけしたと見られることから、高温少雨に対応した栽培管理が必要となります。



## 2 早急に追肥を実施しましょう！

生育量を確保するため、**培土ができなかった場合でも、開花期までに必ず追肥を施用**する。

播種区分	追肥時期	追肥（肥料名、施用量）	備考
6月播種（麦跡）	7月 末日まで	硫安 10kg/10a	

## 3 高温乾燥時や強風時は、畦間灌水を実施しましょう！

- 開花期（7月中下旬）～莢伸長期（8月上・中旬）にかけては干害の影響を受けやすく、圃場の乾燥が続くと着莢数が減り減収します。
- 開花期以降、**乾燥が続く場合、葉が裏返る前に、早めに畦間灌水**（地温の低い夕方から早朝にかけて行うのが望ましい）を実施しましょう。
- 畦間灌水を円滑に実施するため、**畦間のつなぎや排水溝等の点検**を行い、入排水がスムーズにできるようにしましょう。
- 長期の停滞水は、根の機能低下、地上部の生育不良等の生育障害を生じさせるため、**大雨や畦間灌水後は速やかに排水**しましょう。



## 4 除草対策・除草剤の散布により雑草の発生を抑えましょう！

除草剤名	適用雑草名	使用時期 [収穫前日数]	10a 当たり使用量 (希釈水量)	散布 方法	使用 回数
バスタ液剤	畑地一年生雑草 【非選択性】	畦間処理：雑草生育期 [収穫28日前まで]	300~500 mL (100~150L)	雑 草 茎 葉 散 布	3回 以内
プリグロックスL	畑地一年生雑草 【非選択性】	畦間処理：雑草生育期 (草丈30cm以下) [収穫3日前まで]	600~1000 mL (100~150L)		4回 以内
ラウンドアップ マックスロード	畑地一年生雑草 【非選択性】	畦間処理：雑草生育期 [収穫前日まで]	200~500 mL (通常散布 50~100L) (少量散布 25~50L)		2回 以内

農薬・除草剤の使用では、使用基準を守り適正に使用し、周囲への飛散に注意するとともに、作業は熱中症予防のため、特に暑い日は無理をしない！

## 5 適期防除で収量・品質の向上に努めましょう！

紫斑病やカメムシ類などの防除を徹底し、  
きれいな大豆を生産しましょう。



### (1) 粉剤防除

	生育ステージ	使用時期の目安	使用薬剤名 [収穫前日数]	10a 当たり 使用量	対象病害虫名	使用 回数
1 回目	幼 莢 期 (開花 15 日後頃)	7月29日 ~8月3日	スミチオンベルコート 粉剤 DL [収穫21日前まで]	3 kg	紫斑病、カメシ類、 マメシクイガ*	4回 以内
2 回目	子実肥大初期 (開花 25 日後頃)	8月8~13日	マネーヅトレボン粉剤 DL [収穫30日前まで]	4 kg	紫斑病、カメシ類、 アブラムシ類、ハスモン ヨトウ	2回 以内
3 回目	子実肥大後期 (開花 45 日後頃)	8月28日 ~9月2日	トレボン粉剤 DL [収穫14日前まで]	4 kg	カメシ類、シロイモジ マダラメイガ*、マメシク イガ*、ハスモンヨトウ、 アブラムシ類他	2回 以内
随 時	開花期～幼莢期 (7月下旬~8月上旬)	ウコンノメイガ 初発時	サイアノックス粉剤 [収穫7日前まで]	4 kg	ウコンノメイガ*	2回 以内
	幼莢期 (8月上中旬)	葉焼病 初発時	撒粉ボルドー粉剤 DL [ - ]	4 kg	葉焼病	-
	子実肥大後期 以降	カメシ 多発時	MR. ジョーカー粉剤 DL [収穫7日前まで]	4 kg	カメシ類	2回 以内

### (2) 液剤防除

	生育ステージ	使用時期の目安	使用薬剤名 [収穫前日数]	希釈倍数 (10a 当たり 使用液量)	対象病害虫名	使用 回数
1 回目	幼 莢 期 (開花 15 日後頃)	7月29日 ~8月3日	マネーヅトレボン フロアブル [収穫30日前まで]	1,000 倍 (100~300L)	紫斑病、カメシ類、 アブラムシ類、マメシ クイガ*	2回 以内
2 回目	子実肥大初期 (開花 25 日後頃)	8月8~13日	アミスタートレボンSE [収穫14日前まで]	1,000 倍 (100~400L)	紫斑病、カメシ類	2回 以内
3 回目	子実肥大後期 (開花 45 日後頃)	8月28日 ~9月2日	スタークル液剤10 [収穫7日前まで]	1,000 倍 (100~300L)	カメシ類	2回 以内
随 時	開花期～幼莢期 (7月下旬~8月上旬)	ウコンノメイガ 初発時	プレバソンフロアブル5 [収穫7日前まで]	4,000 倍 (100~300L)	ウコンノメイガ*	2回 以内
	幼莢期 (8月上中旬)	葉焼病 初発時	バリダシン液剤5 [収穫7日前まで]	500 倍 (100~300L)	葉焼病	3回 以内
	子実肥大後期 以降	カメシ多発時	スタークル液剤10 [収穫7日前まで]	1,000 倍 (100~300L)	カメシ類	2回 以内

近年、子実肥大期に葉を損傷し、豆の充実を低下させるウコンノメイガや葉焼病の発生が増えています。初発時の発生状況を確認し、適切に防除しましょう。